

平成31年度

長崎県学力調査

小学校第5学年 国語

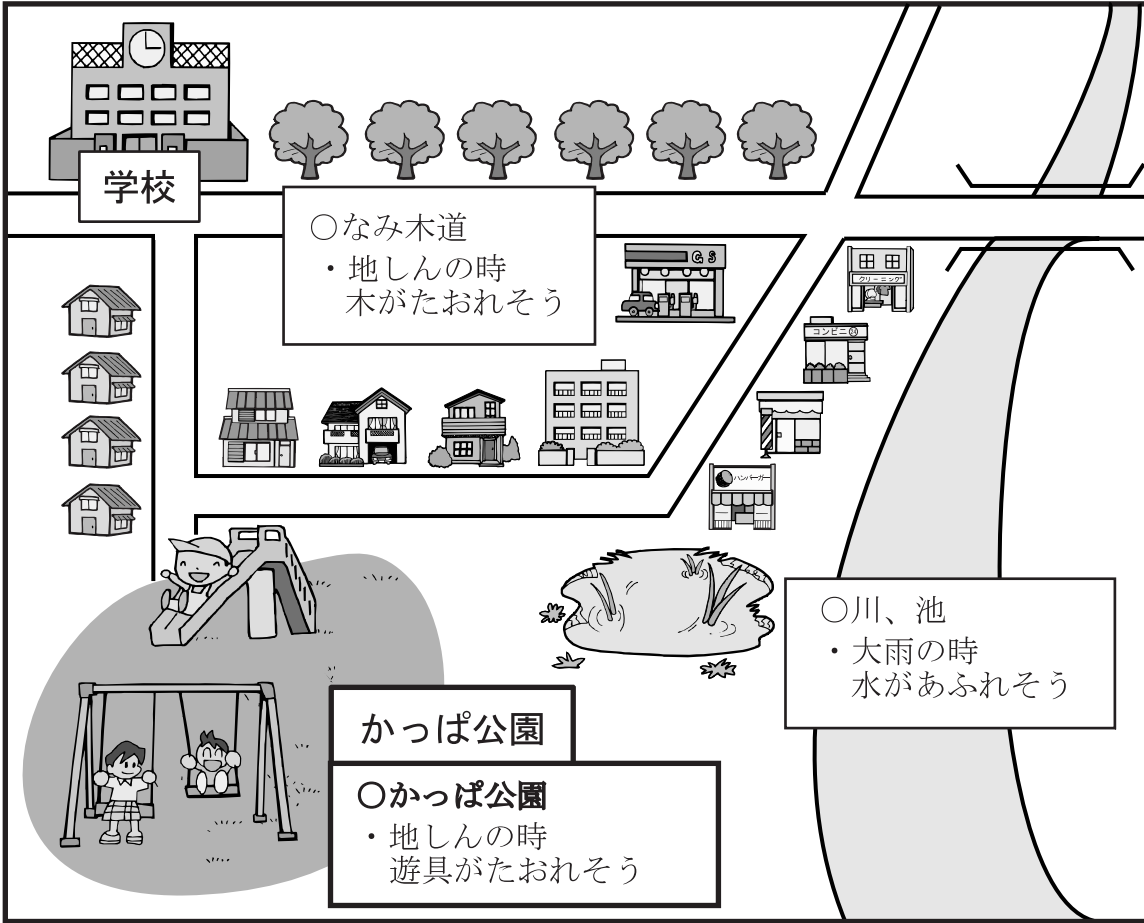
注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから12ページまであります。
- 3 答えは、すべてかい答用紙に書きましょう。
- 4 印刷がはつきりしなくて読めない場合は、静かに手をあげてください。ただし、問題の内容に関する質問には答えられません。
- 5 かい答時間は、40分間です。すべての問題にチャレンジできるように時間配分を考えながらといてください。
- 6 かい答用紙には、「組」、「番号」、「名前」を書く所があります。まちがいのないように書きましょう。
- 7 かい答用紙の「補助票」には何も記入しないでください。

1

山田さんたちは、町の安全について調べたことを【安全マップ】にまとめています。もつとくわしく知りたいことが出てきたので、市役所の人にインタビューすることにしました。次は、【安全マップ】と【事前にじゅんびしたインタビューメモ】と【インタビューの一部】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【安全マップ】



【事前にじゅんびしたインタビューメモ】

〈もつと知りたいこと〉

・町の安全を守るために、どんなことに取り組んでいるのか

〈聞きたいこと〉

1 ひなん場所は、かっぱ公園なのか

2 遊具は、たおれないようにしてあるのか

3 大きな木は、たおれないのか

4 ふだんからじゅんびしておいたほうがよいことはなにか

山田さん 災害さいがいがおきた時のひなん場所は、かつば公園ですか。

市役所の人 そうですよ。かつば公園は、高い建物がまわりにありませんし、ここでは一番高い場所にあるからです。「物が落ちてこない、たおれてこない」場所に、ひなんすることが大切です。

田中さん 公園には遊具がありますが、たおれないようにしてありますか。

市役所の人 遊具は、たおれないように固定してあります。点検てんけんもしています。

田中さん ア、どのように点検をするのですか。教えてください。

市役所の人 目でみるだけでなく、さわってみたり、実際じっさいに遊具をつかってみたりして点検をしています。前回の点検結果とくらべて変化がないか、たしかめています。

なみ木道なみきみちの木も、強い風で折れそうな枝えだはないか、定期的に点検をしています。とくに、大きな木については、木の中がかれていないかも専門家せんもんかの方にみてもらっています。それでも、やはり災害のときは、近づかないでくださいね。

山田さん ふだんからじゅんびしておいたほうがよいことは、どんなことですか。

市役所の人 家族でひなんする場所について話し合ったり、家からひなん場所までの行き方やひなんにかかる時間はかたりしておくことが大切です。

（インタビューが続く）

一 【インタビューの一部】の **ア** には、どんな言葉が入りますか。次の1から3までの中から、最もふさわしいものを一つ選んでその番号を書きましょう。

- 1 具体的には
- 2 もう一度
- 3 反対に

二 山田さんのたちの【事前にじゅんびしたインタビューメモ】について、次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 【事前にじゅんびしたインタビューメモ】の〈聞きたいこと〉に書いたものうち質問しなかったものがあります。その番号を書きましょう。

(2) 選んだ番号の内容を質問しなかった理由を書きましょう。

三 山田さんは、インタビューでわかったことをもとに【安全マップ】の**かっぱ公園**のカードを書きかえようと考えています。

【インタビューの一部】をよく読んで、次の**1**から**3**までのの中から、書きかえるカードの内容として最もふさわしいものを一つ選んでその番号を書きましょう。

1

- かっぱ公園**
- ・大雨の時のひなん場所
 - ・遊具は固定されている。

2

- かっぱ公園**
- ・さいがいの時のひなん場所
 - ・遊具は固定されていない。

3

- かっぱ公園**
- ・さいがいの時のひなん場所
 - ・遊具は固定されている。

四 山田さんたちは、【安全マップ】を外国の人が見てもわかるように、場所の読み方をローマ字で表すことにしました。「かっぱ公園」の「かっぱ」という言葉をローマ字で書きましょう。

五 山田さんたちは、市役所の人の話を聞いて、【安全マップ】に次のような新しいカードをつけることにしました。その中の「はかる」という言葉を国語辞典でたしかめると四つの「はかる」がありました。

あとの【国語辞典の一部】の1から4までのの中から、新しいカードの「はかりましょう」の「はかる」に最もふさわしいものを一つ選んで、その番号を書きましょう。

新しいカード

もしもの時に
そなえて！

ひなん場所までに
かかる時間を
はかりましょう。

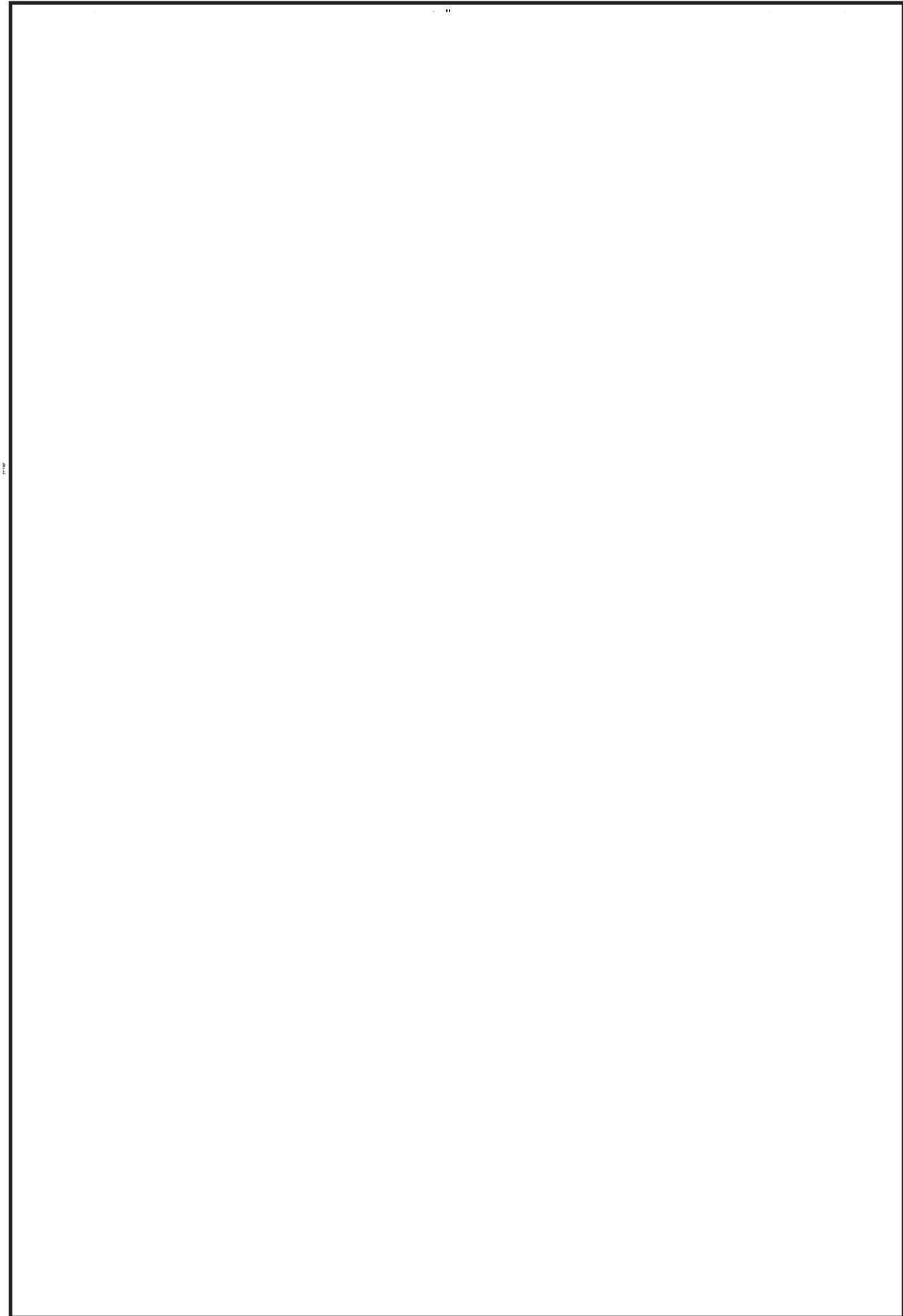
【国語辞典の一部】

1 はかる 【**図る**】 いろいろと考えて計画する。 **例** 一年生と六年生の交流を図る。

2 はかる 【**計る**】 時間、数量などを調べる。 **例** タイムを計る。

3 はかる 【**量る**】 重さ、分量などを調べる。 **例** 体重を量る。

4 はかる 【**測る**】 長さ、高さ、広さなどを測定する。そくてい **例** 教室の広さを測る。



7710

一 石原さんたちは、「海をかつとばせ」という物語を学級の友達にしようかいしようと考えています。

【話し合い1】は、読んで感じたことを、話し合っている様子です。次の【話し合い1】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合い1】

石原 このお話は、ふしぎな感じがするね。ワタルが海ですぶりをしていると、男の子があらわれるでしょう。

田中 そうだね。男の子は、波の子どもで、**ア**「**ア**」というすがたが印象的だね。

山下 男の子が、波のうらがわにきえると、波の後ろからひよいとうであらわれて、ボールがとんできたでしょう。

上田 白いボールが、白い鳥になったり、海なのにワタルは、ダイヤモンドを一周したりもするよね。

石原 それにね。ワタルが目をはちばちさせると、スタンドが海にもどると書いてあるよ。やっぱり海なんだよね。

山下 「海をかつとばせ」は、**イ** **イ**ワタルが、はまべですぶりをしていると、男の子があらわれたり、海が

野球場にかわったりして、ワタルの野球の練習を手伝ってくれるふしぎな話だね。く（話し合いが続く）く

(1) **ア**に、あてはまるものを「海をかつとばせ」の……線部AからDまでの中から一つ選んで答えましょう。

(2) **イ**には、「海をかつとばせ」の……の部分をもとめた言葉が入ります。**イ**に入る言葉を

十五字以上、三十字以内で書きましょう。

二 石原さんたちは、この物語に登場する「ワタル」がどのような人物なのかを話し合っています。その様子を表した【話し合い2】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合い2】

石原 「ワタル」は野球が大好きで、がんばりやだと思うなあ。

田中 そうだね。「毎朝、海^べまでランニングして、はまべで百回すぶりをしよう。」というところから、試合に出るとい目標に向かってあきらめず努力する人だと思うよ。

山下 ほかに、ウというところからもそう思ったよ。

上田 主語をかくにんしていいかな。(2)を示しながら「さむさで耳がいたいのも、クビナガリュウがこわいのもわすれていた。」とあるけど、エはわすれていたんだよね。それに、(1)を示しながら「はまべに打ち上げられた流木が、クビナガリュウみたいになぞっていた。」は、オがねそべっていたんだよね。

山下 ワタルは、はじめは海に対してこわいような気持ちをもっていたよね。最後は、自分をおうえんしてくれる友達のような気持ちに変わってきていると思うな。それは「じゃ、また、練習をてつだってくれるかい。」や「カ」とワタルが言ったところからそう思ったんだけど。ワタルは、おくびようなところもあるけど、人なつつこいがんばりやと思うな。

く (話し合いが続く) く

- (1) ウ に入る言葉を「海をかつとばせ」の——線部1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- (2) エ、オ に入る主語をそれぞれ書きましよう。

- (3) 「海をかつとばせ」の会話文の中から、カ に入る言葉をぬき出して書きましよう。

出島さんは、おじいちゃんやおばあちゃんが子どものころ、どんな遊びをしていたのかについて調べ、学級のみんなに説明するための文章を書くことにしました。次の出島さんが書いた文章をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

みなさんは、「かんけり」という遊びを知っていますか。おじいちゃんやおばあちゃんが、子どものころ、よく遊んでいた遊びだそうです。

^Aわたしは、「かんけり」がどんな遊びか知りたいと思い、みんながよく知っている「かくれんぼ」とにいてるところやちがうところをおじいちゃんやおばあちゃんにたずねたり、インターネットで調べたりしました。

「かんけり」は、^アあきかんをつか^イって遊びます。

「かんけり」と「かくれんぼ」は、^Bにいてるところが多くある。

^ウにいてるところは、おにとかくれる人に分けられるところや、全員を見つかるまでさがすところなどです。ちがうところは、かんをけて始めるところや、つかまった後もふっかつでできるところです。

かくれんぼは、一度見つかったら、全員が見つかるまで待つしかありませんが、「かんけり」は、見つからない人がかんをけることができれば、おにつかまっていた人も全員、またにげることができます。つまり、またはじめからになります。

楽しく遊ぶためには、気をつけることやくふうすることがあります。

例えば、（

C

）

調べてみて、「かんけり」と「かくれんぼ」はにいていますが、「かんけり」はつかまっても、味方がかんをけるとふっかつでできるので、おもしろいと思いました。また、長崎県とわたしのおじいちゃんやおばあちゃんが住んでいる香川県、福岡県では、^エおなじルールで遊んでいたそうです。

一 出島さんは、自分が書いた文章を読み返したとき、……………線部Aの一文が長いので、二文に分けて書いたほうがよいと考えました。文の意味を変えないように、二文に分けたとき、次の（ ）の中に入る言葉として最もふさわしいものをあとの1から4までの中から一つ選んで、番号を書きましよう。

A わたしは、「かんけり」がどんな遊びか知りたいと思いました。（ ） みんながよく知っている
「かくれんぼ」とにているところやちがうところをおじいちゃんやおばあちゃんにたずねたり、インター
ネットで調べたりしました。

- 1 では
- 2 そこで
- 3 しかし
- 4 なぜなら

二 出島さんは、——線部B多くあるを他の文に合わせて、書き直した方がよいことに気づきました。どのように書き直せばよいですか。六字で書きましよう。ただし、句点（。）は字数にふくみません。

三 出島さんは、楽しく遊ぶために気をつけることやくふうすることについて、次の【かんけりの遊び方】とおじいちゃんやおばあちゃんに【聞いたこと】をもとに、
C に書くことにしました。
へじょうけん」に合わせて書きましよう。
C に入る内容を、あとの

【かんけりの遊び方】

- ・おにとかくれる人に分かれる。
- ・円の真ん中に置いたかんをけて始める。
- ・見つかったら、決められたところで待つ。
- ・見つからない味方が、かんをけることができたら、つかまっていた人も全員にげることができる。
- ・おには、全員が見つかるまでさがす。
- ・大人数で遊ぶ時は、おにをふやす。

【聞いたこと】

- ・三人でも遊べる。
- ・大人数になっても楽しく遊べる。
- ・つけたかんが道路にとび出さないようにする。
- ・周りの人や建物に当たらないようにする。
- ・長崎県、香川県、福岡県でもおなじルールで遊んでいた。

へじょうけん

○【かんけりの遊び方】と【聞いたこと】の両方から取り上げて書くこと。

○書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉「例えば」は、字数にふくまない。

四 この文章に題名をつけようと思います。次の1から4までのの中から内容に最もふさわしいものをついで、その番号を書き
ましよう。

- 1 知っていますか、今、みんなに人気のある遊び
- 2 知っていますか、かんけり遊びの名前の由来
- 3 知っていますか、かくれんぼの遊び方
- 4 知っていますか、かんけり遊び

五 次の(1)と(2)の問いに答えましよう。

- (1) ━━━━━━線部ア、イ、オのひらがなを漢字で、ていねいに書きましよう。
- (2) 三、四年生にも読んでもらうために、漢字に読みがなを書くことにしました。

━━━線部ウ、エの漢字の読みがなをひらがなで書きましよう。

これで、国語の問題は終わりです。

